

南丹市教育委員会会議録

令和 7 年第 7 回定例会

(令和 7 年 7 月 16 日)

令和7年南丹市教育委員会第7回定例会会議録

1. 日 時 令和7年7月16日(水)
開会 午後3時30分 閉会 午後4時26分
2. 場 所 南丹市役所3号庁舎2階 第4会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 國府 常芳
5. 出席委員 教育長 國府 常芳
教育長職務代理者 前田 好久
委 員 城戸 貴子
委 員 洲上 真奈美
委 員 一谷 昌道
6. 欠席委員 なし
7. 事 務 局 教育次長 野々口 智司
こども家庭センター長 谷口 悌
教育参事 山田 啓亮
学校教育課長 山田 真美
総括指導主事 中川 大輔
学校教育課参事 木上 恵理
社会教育課長 井尻 智道
幼児教育・保育推進課 田中 洋子
こども家庭課 橋本 達矢
8. 傍 聴 人 あり

日程1 開会

教育長が令和7年南丹市教育委員会第7回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に木上学校教育課参事を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 日程報告

(教育次長)

- 6月21日、口丹波陸上大会
- 6月27日、6月議会（閉会日）
- 7月3日、教育委員会 園・学校訪問
- 7月4日、小・中学生指導主任会議
- 7月5日、人権教育講座
- 7月9日、校園所長会議
- 7月13日、市PTA研修会

(2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき説明

日程5 議事

日程6 その他

(1) 行事予定

(事務局)

上記について説明

(2) 学校教育課からの報告

- ・新聞掲載記事について
- ・学校訪問について
- ・南丹市教職員等夏季研修会（8月22日）について
- ・令和7年度 市町村教育委員会研究協議会（9月12日）について

(浏览委員)

学校（園）訪問について、園部幼稚園で人手不足の説明があった。用務員が掛け持ちをされているが、人件費削減のためなのか、それとも募集しても来られないのか。また、園部小・園部第二小ではエアコンの調子が悪いと聞いたが、登校途中で具合が悪くなった児童もあるとの説明もあり、エアコンの管理につ

いて聞きたい。事前に点検等を行っているのか、それとも使っていて壊れたのか。

(事務局)

園部幼稚園への用務員は複数人配置しており、交替で入っていただいている。市として会計年度任用職員を削減している面もあるが、教育・保育の現場に関しては配慮されており、今も募集をしているので応募があれば来ていただくことになる。現在、園部幼稚園から用務員に関しての要望は聞いていないので、用務員の募集はしていない。ただし、昨年度1名退職されたので、用務員としては減員しており、週5で事務をお世話になっている方にも、用務の仕事を手伝っていただいている。

エアコンに関しては、事前に点検はしていない。6月の校長会で稼働してもらうように案内したが、園部小学校から複数台の調子が悪いとの連絡を受けた。本来、計画的に古い物から順次更新するのが理想ではあるが、壊れていない状態での予算確保が困難な状況である。今回、保健室についてはすでに緊急修繕を行ったが、他の部屋については学校と連携しながら当面の間は工夫して使い、順次対応していく。

(城戸委員)

園部中学校訪問時にざわついていたので心配している。園部第二小学校も以前よりはざわついていたように感じた。幼稚園は自由な雰囲気教育をされていると思うが、そのまま小学校に上がり、小学校1年生で席について先生の話聞くスタイルになった時に、そのギャップがストレスにならないか。

(事務局)

園部中学校に関して、訪問後に生徒指導主任と話をする機会があった。授業との相性や、新採教職員も入っている状況であるが、中学校1年生に関しては小学校から中学校に上がり、今後は徐々に集団としての価値観を指導していく。生徒指導主任からは、今後、学年主任とも連携して見通しを持って進めると聞いている。訪問日にざわついていたことは、校長とも確認している。園部第二小学校については、特性のあるお子さんが外に出てクールダウンする必要もあり、教頭や教務主任も職員室にいない状況も多い。去年まで担任をしていた教員が今年は生徒指導主任の役割を持っており、全体を見通して指導するとともに教育委員会とも連携して取組を進めている。

幼稚園から小学校へのギャップについては、「架け橋期コーディネータープロジェクト」により、学校教育課の指導主事が幼児教育・保育推進課と一緒に現場をまわって課題を明確にしている。国と同様、本市でも「小1ギャップ」を意識した取組を進めている。

幼児期の保育指針や幼稚園教育要領、認定こども園の教育保育要領には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が明記されている。それを現場で身に付けてもらうため、先生がその環境を整え、意図をもって保育実践を行っている。一斉保育から主体的な保育に変換しているので、いろいろな遊びや生活の中で個々の成長や発達に合わせて保育士が狙いを定めて保育を行っている。

学校での生活に切り替えることに対しては保護者からも不安の声を聞いている。

るが、個々の主体的な学びができていれば学校での生活に順応できると考えられている。「架け橋期コーディネーター」事業を中心に双方の現場を見ながら課題を克服するように事業を推進しており、過渡期ではあるが、こどもも学校の先生も戸惑わないような取組を進めている。いずれ成果が表れると思う。

(3) 社会教育課からの報告

- ・企画展「戦争と南丹市」－戦後 80 年 記憶の継承と平和への歩み－
- ・社会教育施設の運営について

(城戸委員)

1 年間試行することの趣旨に関して、市民に周知するのか。

(事務局)

12 月 1 日から試行的に開館短縮する旨の広報を出し、対象施設でアンケート調査をし、今後の運営について検討資料とする。当初は試行期間を 3 カ月とすることも検討したが、冬季や夏季など時期によっても状況が変わると思うので、1 年間とさせていただいた。

(城戸委員)

アンケートの方法について、利用する人だけを対象にするのではなく、利用しなくなった人の意見も聞けるような方法を考えていただきたい。

(事務局)

ホームページ等も活用し実施させていただく。

(4) こども家庭課からの報告

- ・特になし

(5) 幼児教育・保育推進課からの報告

- ・特になし

[次回定例会について]

(教育長)

次回定例会の開催は、令和 7 年 8 月 8 日（金） 午後 3 時 30 分からとする。

午後 4 時 26 分 閉会

南丹市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により、ここに署名する。

令和7年8月 日

南 丹 市 教 育 委 員 会 教 育 長

南丹市教育委員会教育長職務代理者

南 丹 市 教 育 委 員 会 委 員

南 丹 市 教 育 委 員 会 委 員

南 丹 市 教 育 委 員 会 委 員

(会議録調製者)

南 丹 市 教 育 委 員 会 教 育 次 長